

小中一貫校新設調査特別委員会

本特別委員会は、11月11日に開催した委員会において、11の小項目と4つの大項目についての内容を協議した。内容の協議は委員を2組に分けて行った。

第1部会

「財政計画」について

- (1) 建設費用を35億円とみているが金額の妥当性の検討が必要。
- (2) 補助金を2分の1としているが他に使える補助金の有無について。
- (3) 一般会計からの支出や公債費など財政計画は持続可能な町政になるのかの調査。
- (4) 現在までの耐震工事や修繕費用との比較検討と第6次総合振興計画への位置づけ。

であった。

「地域振興（送迎方法、施設活用）」について

- (1) 検討会の立上げは幅広い意見が聴けるようになるのか。
- (2) コミュニティをつなげていく視点はあるのか、の2点である。

第2部会

「一貫校移行に係るコンセンサス（合意）の確保（地域と保護者）」について

地域住民や保護者に説明が不十分で、コンセンサスがとれていないという課題が浮き彫りになった。また鎌形小学校が菅谷小学校に統合案を出した地域説明会では、感情的

な意見のぶつけ合いがあったという。コンセンサスが取れていないと住民間に亀裂を生じさせることになることが指摘された。

「一貫校のあり方（運用等）」について

「6・3制は小学校から中学校に入るとき、ここで教育目標が一旦途切れてしまう。本来の一貫校は9年制であるべきではないか」「メリットだけ追ってデメリットの改善が進まない。デメリットをなくす提言が必要だ」、などという報告であった。

それぞれの部会の報告を基に今後も調査をすすめる。

委員会の検討課題（4つの大項目）

- ア 財政計画
- イ 一貫校移行に係るコンセンサスの確保（地域と保護者）
- ウ 地域振興（送迎方法、施設活用）
- エ 一貫校のあり方（運用等について）



七郷小学校＝R2. 12. 20

広報広聴常任委員会

① 広報部会

① 議会だより第180号の発行について

10月29日入稿、11月6日初校、13日再校、18日再々校で部会が開催された。主には令和元年度の決算状況、新町長の挨拶及び補正予算等の審議内容、各議員の一般質問、各常任委員会報告、特別委員会報告、一部事務組合報告等の掲載になるが、今号もコロナ禍の発行であり3密、換気に十分配慮し、読者に見やすく解りやすい議会活動掲載に心がける。

② 広聴部会

（11月13日に開催）

① 第17回議会報告会パワポイント資料の確認について

担当者より提出された原稿を事務局にて編集、部会で精査する。主に配色及び画面構成に意見がありその場で修正



動画配信イメージ

もされるが、最終版は正副委員長にて誤字、数字、構成等を確認する事で一任される。

② 11月27日、今後の議会ICT活用について、町と部会協議会を開催

○オンライン会議の可能性について
議場、201、202会議室、正副議長室、事務局にWi-Fiアクセスポイント設置を補正予算に計上している。パソコンなどを利用して、インターネットの活用が可能

となる。利用規定の整備が必要。
（第4回定例会で可決）

○動画配信について

- ・現状の議場システムの映像を利用することができる。
- ・配信するデータの編集、加工及び発信作業は事務局、議員では技術的に難しい。
- ・データの保管を含め、業者に依頼することが通常である。
- ・どの位の発信量になるのか、発言者ごとに細かく分けるのか、要望により単価は大きく変動する。
- ・YouTube等による発信も方法の一つ。

・配信動画は、公式記録では無いことを必ず明記、表示する。（議事録が公式記録）

・庁舎内の議会が使用できるサーバー容量は限られており、動画配信する場合は業者委託等と比較して判断する事が必要となる。

（以上が主な意見交換内容である。以降、部会委員会にて協議、委員会一致を図る。）

政友会視察

令和2年12月16日（水）、オリックス資源循環株式会社、エコ計画嵐山を視察しました。

オリックスはすべての廃棄物を資源化する熱分解ガス化改質方式（2000℃）により、焼却灰や飛灰などが一切発生しない最先端のリサイクルシステムです。1日450t処理できます。また、来年10月には国内最大級の乾式バイオガス発電施設が建設されます。食品廃棄物や紙ごみなどの一般廃棄物をメタン菌により発酵させることで、バイオガスを発電燃料として活用する再生可能エネルギー発電施設です。1日100t処理できます。

エコ計画嵐山では、1997年廃棄物中間処理総合リサイクル施設として完成し、限りある資源を有効活用するサマールリサイクルしています。サマールリサイクルとは、廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーを回収して発電などに利用する方法です。焼却炉の燃焼温度を800℃以上に保つことでダイオキシン等の排出を抑制しています。1日65・8tの処理ができます。